

令和4年1月28日

佐渡市自立支援協議会 様
佐渡市社会福祉課長 様

佐渡市自立支援協議会療育支援部会
事務局 新星学園長 田代 健一

要 望 書

佐渡市自立支援協議会療育支援部会として、以下2点を要望します。

1 佐渡市における放課後等デイサービス事業所の拡充について

佐渡市における放課後等デイサービスは、関係する皆様のご尽力によって今年度2か所目を開設することができ感謝申し上げます。一方で2か所の事業所では既に定員を大幅に超える登録者・利用希望者がおります。また、佐渡市と人口規模が同程度の新潟県下越地方の各市と比較すると、村上市が5.7万人で7か所、胎内市が2.8万人で3か所、新発田市が9.4万人で10か所、阿賀野市が4.0万人で5か所、五泉市が4.7万人で5か所となっております。佐渡市が5.1万人で2か所（各定員10名で20名）であり、まだまだ不足しているのが現状です。

今後も引き続きニーズ調査を継続し、適正な放課後等デイサービス事業所の設置に向けてご尽力いただきますよう要望します。

2 佐渡市における子どもの心理・発達検査体制のマップ作りとその連携について

佐渡市内においては医療機関や相談機関等で、子どもの心理・発達検査が行われていますが、必ずしも保護者や関係者等に十分周知されている状況にないように思われます。特に障がい児への適切な支援については、子どもの心理・発達検査結果等を踏まえ、保護者の同意を得た上で、療育担当者等が子どもや保護者に対して適切な支援を行うことが必要と思われます。

そのためには、どこで、どのような心理・発達検査を行っているのか、佐渡市内全体のマップ作りを行い、保護者及び関係者で情報共有し、相互に連携できる体制が必要であると考えています。

佐渡市及び佐渡市自立支援協議会におかれましては、これらの状況を踏まえ、障がいのある子どもやその保護者に対する支援策の一層の充実を要望します。